

3 選定（採択）の理由

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名（シリーズ）
	番 号	略 称	
国語	3 8	光村	国語

選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- ア 各教材・領域とも学習内容が明確で、各領域の関連性のある単元が効果的に配置され、国語科の目標達成に結びつく内容である。
- イ 各学年の発達段階に応じた教材内容であり、教材数や各領域のバランスもよく、系統的・段階的な構成である。
- ウ 文学的文章や古典等では、評価の高い教材を配し、説明的文章では多様な文種を取り上げ、現代的な題材を多く取り入れている。

（2）内容に関する配慮事項

- ア 学習目標に応じた学習過程を見開きのページで明示することで、主体的・対話的な学習活動の充実を目指せる仕組みになっている。
- イ 情報の扱い方においては、「情報と情報との関係」や「情報の整理」の仕方を学び、3領域の学習で繰り返し活用し定着できる配列になっている。
- ウ 「読むこと」での学習と関連させて「書くこと」の活動が設定されるなど、各領域をバランス良く学習しながら「思考力・判断力・表現力等」、「知識及び技能」を高められるように配慮されている。
- エ 教科横断的に同様の内容を扱うなどして、異なる角度からの学びが深まるようになっている。
- オ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習では、生徒の必要感を喚起する具体的な言語活動が示され、見通しを持って学習が進められるものとなっている。
- カ 古典の学習導入部では、古典に親しむことを喚起する資料が配置されている。

（3）分量

- ア 単元ごとの領域もバランス良く構成されており、適切な分量である。

（4）使用上の便宜

- ア 本文、資料、挿絵、写真、図など学習上の関連を持たせ、学習の深まりに役立つよう配置されている。
- イ 巻末の「資料」では、ページの左側に領域別の関連が一目で分かるような表示や学習のための用語一覧があり、発展的・弾力的な学習が展開できる。

（5）印刷・製本等

- ア 特別支援教育や色覚の多様性に配慮しており、生徒の学習負担を軽減できるように、新出漢字等は書き文字との差異が少ない自社開発の書体を、また、読み仮名や読書案内などの小さな文字ではUDフォントを使用し、視認性を高めている。

（6）選定の観点

- ア 教科書に配された2次元コードから動画や資料が閲覧でき、理解を助けたり、興味を持たせたりするコンテンツ（3年間で352コンテンツ）や身につけた資質・能力をCBT形式により確認できる等、個別最適な学びにも対応している。
- イ 生徒たちを取り巻く今日的教育課題（SDGsに代表される持続可能な社会づくりの視点に立った「人権教育」「情報教育」「キャリア教育」等）配慮がなされている。

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
書写	3 8	光村	中学書写 一・二・三年

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ア 国語科の目標達成に結びつく内容になっている。
- イ 生徒の発達段階に沿った内容であり、3年間の学習を見通した系統的な7つの構成である。

(2) 内容に関する配慮事項

- ア 各単元・教材での学習内容の焦点化、段階的な配列により、各教科等や日常生活に生かすことができる内容になっている。
- イ 文字を正しく整えて速く書くことができる内容になっている。
- ウ 毛筆学習で身につけた力を硬筆に生かす内容になっている。
- エ 各教科及び学年間、校種間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。
- オ 体験的な学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習が促されるような配慮がされている。

(3) 分量

- ア 授業時数から見て、各学年とも分量としては適切である。

(4) 使用上の便宜

- ア 図版・挿絵・写真・動画等は、生徒の学習意欲を喚起するとともに、学習を進める上で適切な内容を効果的に示している。

(5) 印刷・製本等

- ア 写真や手本の配置等が工夫されている。毛筆学習では、穂先の位置や筆脈などが分かりやすい朱墨の使い方がなされている。
- イ 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間なども適切である。

(6) 選定の観点

- ア 本編と硬筆練習帳「書写ブック」、巻末の「日常に役立つ書式」「中学生のための漢字字典」「書き初めマスターブック」を活用することで豊かな文字文化に触れるとともに、生徒の実態に応じた学習活動が展開できる。
- イ 教科書に記された2次元コードをタブレット等で読み取り、動画や資料が閲覧できるようになっており、理解を助けたり興味を持たせたりするコンテンツ（3年間で463コンテンツ）が準備されている。
- ウ 楷書、行書を並べて提示してあり、点画の省略がわかりやすくなっている。

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
社 会 (公民的分野)	1 1 6	日文	中学社会 公民的分野

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領の内容と整合性が図られており、教科の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・様々な資料から現代の社会的事象に関する情報を調べまとめる技能を身につける内容になっている。

(2) 内容の取扱い

- ・「確認」コーナー、「表現」コーナーには基礎的な知識及び技能の確実な定着をねらいとした学習活動や自分の考えを説明させる問いが提示されており、習得した知識・技能を用いて文章化・言語化できるようにしている。
- ・「アクティビティ」コーナーなど、本文ページの学習の中で見方・考え方をくり返し働かせることができるようにしている。
- ・各章のまとめと巻末の「思考ツールを使ってみよう」をリンクさせ、収集、整理された様々な情報をもとに考察を進めることができるようにしている。
- ・特設ページ「明日に向かって」では、SDGsの目標や他教科との関連について掲載している。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・各章の導入ページ「学習のはじめに」では、小学校社会科における公民的分野に関わる学習内容を再確認できるよう配慮している。
- ・巻末の「現代の世界のようす」で地理的分野、「日本の現代史年表」で歴史的分野との関連を示すなど、本文中の資料も含めて3つの分野の関連が理解できるよう配慮している。
- ・QRコンテンツのある箇所には、タブレットマークを配置して関連資料や動画があることを示しており、ICTを活用した学習が効果的に進められるよう配慮している。
- ・全体を通して「ポートフォリオ」、「イントロダクションムービー」、「確認小テスト」などのQRコンテンツを系統的に設定し、家庭での学習や自主学習を支援できるよう配慮している。

(4) 分量

- ・目次、索引、巻末資料を除き全230ページ、配当時間は全100時間で構成されている。

(5) 使用上の便宜

- ・本文は見開き2ページ1単位時間で構成され、学習内容を理解しやすいように、授業や生徒の思考の流れに即したレイアウトで構成されている。
- ・巻末法令集の日本国憲法の難しい用語には解説を付すとともに、本文の用語解説や生徒が混同しやすい語句のちがいを解説する「類似用語集」を設けている。

(6) 印刷・製本

- ・再生紙、植物油インクが使用され、文字はカラーUDデザインとUDフォントを使用し、ふりがなにはゴシック体が用いられている。

選定した教科用図書

種目	教科書		教科書名（シリーズ）
	発行者の 番号	略称	
社会 (地図)	4 6	帝国	中学校社会科地図

選定理由

（１）内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領の学習内容に沿った資料が選定されており、本体教科書と併用することで、学習効果が高まるように配慮されている。
- ・地名等には、原則として全てふりがなが付され、読み取りやすくなっている。

（２）内容の取扱い

- ・持続可能な開発目標（SDGs）についての特集ページがあるなど、環境問題や食糧問題、紛争などの資料が充実している。
- ・課題解決的な学習を行うための構成とし、主体的に学習に取り組む態度を育成できるようにしている。
- ・QRコードが多数配置されており、調べ学習を支援するためのデジタルコンテンツが多数掲載され、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫が見られる。
- ・要所に「問い」が配置され、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫が見られる。

（３）内容に関する配慮事項

- ・「地図帳の使い方」などのページでは、小学校用地図帳から発展、深化させることへの配慮が見られる。
- ・鳥瞰図を多く取り入れ、生徒の興味・関心を高める工夫が見られ、地図を立体的にとらえたり、考察できたりする配慮が多くみられる。
- ・他分野との接続や関連への配慮がなされており、歴史的分野や公民的分野にも活用できる地図資料が多くある。
- ・環境教育、防災、人権、情報化を意識した今日的な課題へ対応する資料が充実している。
- ・地形だけでなく、世界各州や日本各地の自然環境や生活・文化、歴史、産業など様々な特色が視覚的に読み取れる。
- ・「地理的な見方・考え方」を働かせる問い「地図で発見！」を多数配置し、資料活用能力を高められる工夫がしてある。

（４）分量

- ・全体の分量１９８ページ（統計・索引を含む）で構成され、ページ数は、程よい分量になっている。

（５）使用上の便宜

- ・統計資料は、背景が白色もしくは薄色となっており、文字や数字が読み取りやすい。

（６）印刷・製本等

- ・大判（A４判）になっているので、個々の地図が大きく見やすい。
- ・色覚に特性のある生徒にも読み取りやすいカラーユニバーサルデザインとなっている。
- ・地図を読み取りやすくするために、通常の４色印刷に黄緑色インキを加えた５色刷りで印刷しており、地図、資料の色使いが明るく見やすい。
- ・折り込みページの折り目部分がコーティングで補強され、堅牢で長期間の使用にも耐えられるようになっている。

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
社 会 (地理的分野)	4 6	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領の「社会科の目標、各分野の目標、内容、内容の取扱い」をふまえ、地理的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が明確におさえられている。
- ・文章表現や内容などが、生徒の発達段階に即している。

(2) 内容の取扱い

- ・「主体的・対話的で深い学び」を具現化し、活動型の学習を促す工夫がなされている。
- ・特設ページ「アクティブ地理AL」が全4テーマ設定されている。
- ・「アクティブ地理AL」では、ハザードマップを使って避難先を考える「自然災害から命を守ろう」というパフォーマンス課題が設定されており、地域にみられる課題を考察し、解決への取り組みを考えることができるようになっている。
- ・学習の見通しと振り返りを通して、「指導と評価の一体化」が実現できるようにしている。
- ・単元のはじめに「写真で眺める」を設定することで学習の見通しが立てやすくなり、且つ、単元のおわりに「学習を振り返ろう」を設定することで学習内容の定着化を図っている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・各単元で単元を貫く問い「章・節の問い」と、毎時の問い「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設定されており、深い学びとなるよう配慮されている。
- ・各単元で学習の見通しと振り返りが設定されており、自らの学びを深めることができるよう配慮されている。
- ・本文右ページの最後に「確認しよう」と「説明しよう」が設定され、重要事項を言語化・文章化したり、言語活動で学習内容を振り返ったりすることができるようになっている。
- ・「技能をみがく」で、地図や資料の読み取りや製作などの学習活動が設定されて、地理的技能を確実に習得できるようにしている。
- ・「未来に向けて」が設定されており、地域的・地球的課題の解決に向けた取り組みを学ぶことができるようになっている。

(4) 分量

- ・全体の分量298ページ（本文293ページ）で構成されている。
- ・総授業時間数115時間（予備時数5時間）で構成されている。

(5) 使用上の便宜

- ・見開き1時間で構成されている。
- ・地図や視覚教材がバランス良く配置されており、また異なる単元の地図や視覚教材が比較しやすく配置されている。

(6) 印刷・製本等

- ・文字はユニバーサルデザインフォントを使用している。地図や視覚教材は配色は識別しやすい色を使用している。
- ・再生紙を活用し、国産の米ぬか油を使用したインクを使用しており、地球環境に配慮している。

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
社会 (歴史)	1 1 6	日文	中学社会 歴史的分野

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・本書は学指導要領の内容と整合性が図られており、教科の目標達成に結びつく内容になっている。
- ・平易で具体的な表現が使われており、内容等生徒の発達段階に即している。

(2) 内容の取扱い

- ・基礎的・基本的な知識や技能が習得できる内容のみならず、主体的・対話的で深い学びにつながる構成になっている。
- ・各編の冒頭に、単元を貫く問いを設定し、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現することができるようになっている。
- ・各時代の特色や時代の転換に関係する事象を重点的に取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを押さえられるようにしている。身近な地域や世界の歴史を背景に、日本の歴史の流れを大きくつかみ、理解できるようにしている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・地域の遺跡や文化財などを随所で取り上げ、絵画資料・写真・文書・新聞・統計資料・歴史地図など多様な資料を、大きく鮮明な画像で掲載し、読み取って活用できるようにしている。
- ・東アジア・大西洋・インド洋の交易・交流を具体的に取り上げている。各ページでは、世界を俯瞰できる地図の上に、その時代ごとに設定したテーマに基づいて、世界の状況を視覚的に示している。
- ・人権尊重を基本理念とし、多様性を尊重し認め合う共生社会の実現をめざす姿勢の大切さを学ぶことができるよう配慮している。
- ・歴史の著名人だけでなく、様々な分野・階層の人々の生活や社会的な業績を学べるように配慮している。

(4) 分量

- ・全体の分量 307 ページ（本文 293 ページ）であり、授業時数 119 時間、予備時間 16 時間で計画している。

(5) 使用上の便宜

- ・見開き 2 ページで 1 単位時間であり、巻末に年表ページを見開き 4 ページで設けている。
- ・日本の文化・宗教・世界の動きを項立てし、図版や写真に詳細に記している。

(6) 印刷・製本等

- ・再生紙、植物油インキを使用している。
- ・文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫している。
- ・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
数学	1 1 6	日文	中学数学

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・基礎・基本から活用まで、スモールステップで丁寧に扱っている。
- ・各章は基礎・基本を中心に構成されているが、章末、巻末には「個別最適な学び」を実現するための発展的課題や補充問題・活用問題などを掲載している。

(2) 内容の取扱い

- ・〔A数と式〕では、数や文字の計算、方程式の解法については、既習事項や具体的な事象と関連付けて処理の意味を理解したり、技能を習得したりできるようにしている。
- ・〔B図形〕では、領域全般で図を書いたり、具体物を操作したりする活動やデジタルコンテンツによって基本的な図形の概念、図形の性質や関係を理解できるようにしている。
- ・〔C関数〕では、1年の内容で、中学生キャラクターの吹き出しや図、表を使うなどして関数の意味や表現の仕方を理解できるようにしている。また、全学年で、表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現し、考察する活動を設けている。
- ・〔Dデータの活用〕では、2年の内容で、ドットプロットを併記することで箱ひげ図のしくみを正しく理解できるようにしている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・巻頭では数学の学び方を説明し、横欄には「大切な見方・考え方」を明示することで、学習指導要領に準じた学びを実現できるようにしている。
- ・話し合いをする場面や数学的な表現を用いて説明する活動の場面を設けるなど、対話活動の充実につながる工夫がある。
- ・全ての章の直前に「次の章を学ぶ前に」、1年の巻末に「算数の確かめ」を設けるなど、学び直しに配慮されている。

(4) 分量

- ・全学年とも分量は各単元に偏りなく、指導時数から見て適切な量になっている。

(5) 使用上の便宜

- ・横欄「チャレンジ」に追加問題があるので、個別最適な学びに対応できる。
- ・福岡県福祉のまちづくり条例、九州新幹線など福岡県の内容を取り入れている。

(6) 印刷・製本等

- ・二次元コードは端末で読み取りやすいように紙面の外側についている。
- ・巻末付録の全てにミシン目がついていて扱いやすい。
- ・植物性インキと再生紙を使用している。

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
理科	6 1	啓林館	未来へ広がるサイエンス

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 学習指導要領に基づいており、教科の目標に結びつく内容が記載されている。
- 内容の程度は学年に応じて適切であり、単元構成や観察、実験なども適切に位置づけられている。

(2) 内容の取扱い

- 物質やエネルギーに関する事物・現象について、観察、実験などの技能を身につけ、科学的に探究する力や態度を養うようにしている。
- 生命や地球に関する事物・現象について、観察、実験などの技能を身につけ、科学的に探究する力や態度を養うようにしている。
- 探究の過程を「学習の導入」「学習課題」「計画や予想などの活動」「観察・実験」「結果」「考察」「まとめ」「学習の終わりに」で構成し、わかりやすく表現されており、見通しを持って科学的に探究する学習を展開していくことができる。
- 各項目間の関連が十分に考慮され、自然の事物・現象を科学的に探究する内容になっている。

(3) 内容に関する配慮事項

- 章の冒頭の「学びの見通し」や「学ぶ前にトライ」「学んだ後にリトライ」といった課題が示されており、学習前後の振り返りを意識した指導ができるよう配慮されている。
- 体験的な学習や問題解決的な学習が重視されているとともに、自主的・自発的な学習につなぐために、「探Q実験」が位置づけられている。また「探Qシート」が準備されており、学習準備の軽減にも配慮されている。
- 観察、実験などでは、マークと文字を使って注意事項を表示するなど、事故防止等の安全面への配慮がなされている。
- 発展的な学習内容は適切で、「発展—高校化学へ」と表示して学習時期を明示するなど、学習内容のつながりを意識した表示が見られる。
- 学習の内容に関連した話題を「部活ラボ」「お料理ラボ」「深めるラボ」等で紹介し、科学への関心を高め、学びを活用していこうと意識させる配慮がなされている。

(4) 分量

- 授業時数に照らして、全体の分量、そして内容とその取扱いの配分は適切であり、領域等は偏りなく調和がとれている。

(5) 使用上の便宜

- 「振り返りシート」「問題」「解説動画」「ICTでトライ」等、各種資料のQRコード表示がなされており、端末を用いた学習・説明ができるようになっている。

(6) 印刷・製本等

- 印刷は鮮明であり、個人の特性にかかわらず、より多くの人にとって見やすいメディアユニバーサルデザインへの配慮がなされている。製本はしっかりとおり、文字の大きさ、字体、行間などの設定も適切である。

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽 (一般)	2 7	教芸	中学生の音楽

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・歌唱では、中学生の心情に合ったものが多く、合唱においては基礎的・基本的なものから表現の工夫まで対応できる豊富な教材が掲載されている。
- ・鑑賞では、1学年で「室内楽・日本やアジアの音楽」、2、3年上で「オーケストラ・日本や世界の音楽」、2、3年下では「交響詩・ポピュラー音楽」と系統的な指導が可能になっている。

(2) 内容の取扱い

- ・創作の活動では、音やリズムを選択しながら音楽へと構成していく流れになっており、読譜ができない生徒でも無理なく取り組める。
- ・「郷土に伝わる民謡」や「郷土の祭りや芸能」では全都道府県の音楽が扱われている。
- ・「生活や社会のなかの音や音楽」を扱い、音楽の果たす役割を考え、生涯にわたって音楽に親しむことができるようになっている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・表現領域と鑑賞領域の内容が、分類して配列されている。
- ・「学びのコンパス」はワークシートが充実しており、自分の考えを持ったり整理したりでき、主体的・対話的な学びにつながるよう工夫されている。
- ・「着目するポイントや考え方」「深めるポイント」が譜例や図、吹き出しを用いて説明されており、音楽的な「見方・考え方」を働かせて、「深い学び」を実現するための手立てとなっている。また、それらを活用して言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。
- ・作詞者、作曲者、楽器、楽曲の情景などの紹介がまとめられており、イラストや言葉で詳しく説明されているので楽曲についてイメージしやすく指導にも活かしやすい。また、写真が大きいのびのびとしていて美しく、表現の工夫の手がかりとなっている。

(4) 分量（ページ数、割合等）

- ・過不足のない分量の教材が取り扱われている。また、歌唱・創作・鑑賞の教材がそれぞれバランスよく掲載され、選択しやすいように配慮されている。

(5) 使用上の便宜

- ・「学習の目標」「活動内容」「音楽を形づくっている要素」が各教材に設定され、学習するポイントが分かりやすく、見通しを持って学習にのぞむことができる。
- ・各楽曲で使用されている音楽記号が記載されているページが表示されており、読み方や意味をその場で調べることができる。
- ・教材に記載されている二次元コードで得られる情報が、音源だけでなく風景動画やワークシートなどがあり豊富である。

(6) 印刷・製本等

- ・糸綴じになっており開きがよく、置いたときに見やすい。写真や楽譜はカラー印刷で鮮やかである。紙質も滑りにくく、めくりやすい素材である。

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽 (器楽)	2 7	教芸	中学生の器楽

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・中学校器楽で扱う楽器が一通り網羅されている。基礎的な楽曲から、応用曲と幅広い楽曲が掲載されており、生徒の実態に応じた選曲や指導ができるようになっている。

(2) 内容の取扱い

- ・取り扱う頻度が高いリコーダーについては、16ページにわたり取り扱っており、11曲が掲載されている。楽器に関する基本的な内容や基礎的な奏法がまとめられており、1音のみで演奏可能な練習曲や左手だけで演奏可能な曲もある。
- ・箏については、10ページにわたり、爪のつけ方や座り方、様々な奏法について写真を用いて丁寧に説明されている。基本練習では、順次進行で演奏できる取り組みやすい楽曲が掲載されている。
- ・太鼓については、6ページにわたり取り扱っており、唱歌を使った楽譜を用いて叩くタイミングやリズムが分かりやすくなっている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・リコーダーの学習では、基礎的な内容の解説と練習に加え、アンサンブル曲も多く組み込まれており、応用曲や高度な技術を必要とする曲も掲載されている。
- ・二次元コードを活用することで、学習内容に対応した動画等の資料を確認でき、個別学習も可能である。

(4) 分量

- ・リコーダーに関する内容が16ページ、ギター8ページ、箏10ページ、三味線6ページ、太鼓6ページ、篠笛3ページ、尺八3ページ、打楽器5ページ、資料12ページと取扱いの軽重を考えると適量といえる。
- ・アンサンブル教材が17曲、ポップスやクラシックの旋律が9曲あり、学習の充実を図ることができる。

(5) 使用上の便宜

- ・表紙は、音楽で表現することの喜びを中学生の演奏風景で鮮やかに描いており、生徒の興味・関心を引き親しみやすい印象である。
- ・UDフォントの使用や識別しやすい色の組み合わせ等、ユニバーサルデザインへの配慮がされており、使いやすくなっている。

(6) 印刷・製本等

- ・糸綴じになっており開きがよく、置いたときに見やすい。写真や楽譜はすべてカラー刷りで鮮やかである。紙質も滑りにくく、めくりやすい素材である。

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 （シリーズ）
	番 号	略 称	
美術	116	日文	美術（美術との出会い 学びの実感と深まり 学びの探求と未来）

選定理由

（１）内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領で示されている内容が網羅されている。

（２）内容の取扱い

- ・インクルーシブ教育やSDGsなど、現代的な諸課題における美術の役割について触れている。
- ・作品には〔共通事項〕を踏まえ、題材に応じた造形的な視点を具体的に示しており、生徒が印象や効果を考えやすいようにしている。

（３）内容に関する配慮事項

- ・各題材とも『学びの目標』が平易な言葉で示されている。
- ・発想や構想の手立てや基本的な表現技法について、巻末に『学びを支える資料』として掲載されている。
- ・情報モラルや著作権、肖像権について説明している。

（４）分量

- ・１年生が７５ページ、２・３年生上が６５ページ、２・３年生下が５９ページであり、授業時数に照らして、全体の分量、内容とその取扱いの配分は適切である。

（５）使用上の便宜

- ・各学年の発達段階を踏まえた３分冊で構成している。
- ・導入場面に使える動画が全ての題材にデジタルコンテンツとして掲載されている。
- ・誰にとっても読みやすいようにUDフォントが選ばれている。また、行間や文字色背景とコントラストについても配慮されている。

（６）印刷・製本等

- ・A４ワイド版、無線綴じ、再生コート紙。荷物の負荷を考慮し、従前のものより軽量化を図っている。
- ・題材によっては見開きで展開、原寸大や部分拡大印刷もある。屏風仕立てにして鑑賞できる図版がある。
- ・図版は、実物に近い自然で落ち着いた色合いである。

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
保健体育	2 2 4	学研	新・中学校保健体育

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 体育分野・保健分野ともに学習指導要領に示されている方針、内容、内容の取り扱いに基づいて、適切に内容を取り上げた構成になっている。
- 現代的な課題を取り上げ、学年や生徒の発達段階に応じた内容になっている。

(2) 内容の取扱い

- 各単元が「ウォームアップ」→「エクササイズ」→「学びを生かす」という構成で、課題解決的な学びが実践しやすいようになっている。
- 各時間、最後の「学びを生かす」において、知識をまとめたり、深めたり、活用したりすることができる内容になっている。

(3) 内容に関する配慮事項

- 各章の「扉」に、学びたいことや学んだことを文字や絵、写真などで表現できるスペースがあり、学習意欲を高める工夫がなされている。
- デジタルコンテンツが充実しており、また自ら選んで活用することができるため、さらにＩＣＴ器機を活用し探求的な活動を深めることができるよう工夫されている。
- 現代的な課題を学習内容と適切に関連づけて取り扱っていたり、写真や資料等が多く掲載されたり、生徒の興味関心を持たせる内容になっている。
- 各章末に「章のまとめ」があり、振り返りとまとめ、学びを生活につなげる工夫がなされている。

(4) 分量

- 各学年、体育分野３項目、保健分野１年１３項目、２年１２項目、３年１１項目で、また、口絵１３ページ、索引４ページ（４４７語）で構成されており、学習内容が厳選されている。

(5) 使用上の便宜

- ページは左右下部、目次は表紙裏面に見開きで設定され、読み仮名（ルビ）が振られている。
- 写真や挿絵が、本文中に適度に配置され、文字も大きく見やすくなっている。

(6) 印刷・製本等

- サイズは縦Ｂ５×横Ａ４のＡＢ版であり、表紙には撥水加工が施されている。
- ユニバーサルデザインに基づいた色・配色・書体・紙色であり、また本文等では、ＵＤフォントが採用されている。

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (技術分野)	2	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・「A材料と加工の技術」、「B生物生成の技術」、「Cエネルギー変換の技術」、「D情報の技術」の4つの内容の程度が適切であり、身の回り問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載している。

(2) 内容の取扱い

- ・各編に学習指導要領が示している「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の流れで構成されており、学習の流れに一貫性があり見通しをもって学習しやすい。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会を構築するために、技術の見方・考え方、SDGsとsociety5.0、STEAM教育との関連を意識して編集されている。
- ・各編の学習に必要な基礎技能について「TECHLab」にまとめてあり、それぞれの内容における必要な技能が確認しやすい。
- ・各編において、問題解決例が充実しており、技術の見方・考え方を働かせて、問題解決学習ができるようになっている。
- ・道徳教育との関連を図りつつ、情報モラルを養うことができる。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・各編のはじめのページに利用する見方・考え方を示しており、それぞれの内容の必要な見方・考え方を学習できる。
- ・各編のおわりに「学習のまとめ」があり、身に付いた資質・能力を確認することができる。
- ・各項の構成が見開きで、「目標」・「学習課題」・「ふり返ろう」となっているので授業の流れがつかみやすい。
- ・各編の2章では「問題解決のプロセス」で構成されており、実習例でも「問題の発見、課題の設定」・「解決策の構想」、「製作」、「評価、改善・修正」、「新たな問題の発見」のPDCAサイクルを意識した学習が進められる構成になっている。
- ・各編の3章は、学習の振り返りから、現在の技術の課題とこれからの技術のあり方について考える内容となっている。
- ・思考ツールが紹介しており、子どもが思考を整理しやすいようにしている。

(4) 分量

- ・「D情報の技術」はやや多く、「B生物育成の技術」はやや少ないが各内容のねらいを達成している。

(5) 使用上の便宜

- ・教科書内の関連ページや小学校、他教科との関連、安全・衛生教育、ポイントなどをマークで示している。
- ・図や写真、イラストなどを多く使用し、重要言語は太字で示すなど、基礎・基本的な知識・技能の習得と問題解決のための学習活動が進めやすくしている。
- ・学習のまとめでは、コラムを利用し、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築につなげられるようにしている。
- ・ほぼ全ての見開きページの右上に二次元コードを掲載し、多種多様なデジタルコンテンツがあり、調べ学習に対応できるつくりになっている。

(6) 印刷・製本等

- ・A B版が用いられ、UDフォントを使用し、ユニバーサルデザインの視点で編集している。
- ・環境に配慮した用紙やインキを使用するとともに、教科書の軽量化を図っている。

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (家庭分野)	2	東書	新編新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して

選定理由

(1) 内容の範囲および程度

- ・学習指導要領に基づき、教科の目標に結びつく内容である。
- ・3つの内容（「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」）の程度が適切であり、実践的・体験的な活動も適切に位置づけられている。

(2) 内容の取扱い

- ・「B 衣食住の生活」→「C 消費生活・環境」→「A 家族・家庭生活」の順で構成されており、自立から共生へ生徒の発達段階に対応している。
- ・各編末に「持続可能な社会」について考える章が設置されており、各学習内容と持続可能な社会の構築を関連させて学習できる。

[ガイダンス]

- ・家庭科で目指す姿や自分の生活を振り返る内容を記載し、特に自分の生活チェックで学習後の変化を確認できる。
- ・家庭分野の見方・考え方について解説されており、生活や学習の過程で、見方・考え方を働かせて理解を深めることができるようになっている。

[A 家族・家庭生活]

- ・家族や高齢者、地域の人々との協働に関するロールプレイングの実践を記載しており、客観的に考えることができる。
- ・幼児のふれあい実習について様々な例を記載しており、各学校の実態に応じて実施できるよう配慮されている。

[B 衣食住の生活]

- ・基礎的・基本的な知識及び技能を「いつも確かめよう」でまとめ、製作や実習で習得した技能を発揮できるようにしている。
- ・和食や各地の郷土料理、和服、日本の伝統的な住まいを記載し、日本の生活文化を継承できるように工夫されている。

[C 消費生活・環境]

- ・計画的な金銭管理や消費者被害への対応、他教科との関連を示しながら、持続可能な消費生活や社会を目指すことができるよう工夫されている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ・見方・考え方の関連をマークで示し、生活や学習の過程で、見方・考え方を働かせて理解を深めることができるようになっている。
- ・技術分野や他の教科に関連するマークで示している。また、防災や環境、伝統文化等に関する内容もマークで示している。
- ・調理実習では食物アレルギーの原因となる食品にマークを記載している。

(4) 分量

- ・「ガイダンス」10ページ、「A」57ページ、「B」162ページ、「C」28ページ、「生活の課題」11ページで、学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項を授業時数に照らし、適切に配分している。

(5) 使用上の便宜

- ・巻頭に構成を示し教科書の使い方をわかりやすく説明している。
- ・各内容に二次元コードを付け、動画等のコンテンツにアクセスしやすくしている。
- ・絵図や写真、マーク、説明、会話をに入れてわかりやすいように工夫している。
- ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントで、全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。

(6) 印刷・製本等

- ・ユニバーサルフォントを使用しており、見やすいデザインである。
- ・全ページカラー印刷で再生紙・植物インキを使用している。

選定した教科用図書

教科書 種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
美術	116	日文	美術（美術との出会い 学びの実感と深まり 学びの探求と未来）

選定理由

（１）内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領で示されている内容が網羅されている。

（２）内容の取扱い

- ・インクルーシブ教育やSDGsなど、現代的な諸課題における美術の役割について触れている。
- ・作品には〔共通事項〕を踏まえ、題材に応じた造形的な視点を具体的に示しており、生徒が印象や効果を考えやすいようにしている。

（３）内容に関する配慮事項

- ・各題材とも『学びの目標』が平易な言葉で示されている。
- ・発想や構想の手立てや基本的な表現技法について、巻末に『学びを支える資料』として掲載されている。
- ・情報モラルや著作権、肖像権について説明している。

（４）分量

- ・１年生が７５ページ、２・３年生上が６５ページ、２・３年生下が５９ページであり、授業時数に照らして、全体の分量、内容とその取扱いの配分は適切である。

（５）使用上の便宜

- ・各学年の発達段階を踏まえた３分冊で構成している。
- ・導入場面に使える動画が全ての題材にデジタルコンテンツとして掲載されている。
- ・誰にとっても読みやすいようにUDフォントが選ばれている。また、行間や文字色背景とコントラストについても配慮されている。

（６）印刷・製本等

- ・A４ワイド版、無線綴じ、再生コート紙。荷物の負荷を考慮し、従前のものより軽量化を図っている。
- ・題材によっては見開きで展開、原寸大や部分拡大印刷もある。屏風仕立てにして鑑賞できる図版がある。
- ・図版は、実物に近い自然で落ち着いた色合いである。

選定した教科用図書

種 目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
外国語	9	開隆堂	Sunshine English Course

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 3年間を通して学習指導要領の趣旨を踏まえ、外国語の目標を達成できる内容となっており、各学年の生徒の発達段階に応じて適切である。

(2) 内容の取扱い

- 1年生では単元に入る前のGet Readyで小学校英語を振り返る活動が設定されており、小学校とのスムーズな接続を意識した内容になっている。
- 3年間の最終的な到達目標に向けて、バックワードデザインでの指導計画を立て、4技能5領域を活用する統合的なパフォーマンス活動を軸に、基礎・基本の定着を図りながら、生徒が主体的に学習を進めることができる。
- とびら(目標)→Scenes(新出表現)→Turning in(題材導入)→本文→Review & Retell(ふりかえり)→Action(自己表現)の流れで、修得した知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を高める構成になっている。
- “Small Talk”→“Action”→“Our Project”での3つのステップを踏んで、「即興力」を育成するための工夫がなされている。
- 各学年において、巻末資料が用意されており、生徒が主体的に自己表現活動に取り組むことができる。
- 「地球市民」としての豊かな感性を育む題材が豊富で、SDG s と関連した題材まで幅広く扱われており、教科横断的な学習も実現できる。

(3) 内容に関する配慮事項

- 相手意識や目的意識をもたせるための場面性のある活動が単元末に設定され、言語材料を多様な形態で使用することで、定着を図ることができる。
- 理解しやすいような言語材料の配置となっている。また、Retellが現行の教科書よりも取り組みやすくなっている。

(4) 分量

- 1年10課、2年8課、3年7課で指導時数に照らして適切である。

(5) 使用上の便宜

- 二次元コードにより、音声や映像、単語学習に関するデジタルコンテンツが充実している。
- 学習者用デジタル教科書では、生徒の多様なニーズに応じて、学習者支援機能をカスタマイズでき、AIによるスピーキングの評価機能も活用できる。

(6) 印刷・製本等

- ユニバーサルデザインの考え方など特別支援教育の視点が重視されている。
- サイズはA4版で、詰め込み感のないゆとりある紙面構成になっている。

選定した教科用図書

種 目	教科書		教 科 書 名 (シリーズ)
	発 行 者 の 番 号	略 称	
道徳	2	東書	新編 新しい道徳

選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ア 学習指導要領を踏まえ、教材や資料が適切に選定、配列されており、教科書1冊で、年間35時間を構成できるようになっている。
- イ いじめ問題、生命尊重、防災、情報モラルについて取り上げており、いじめ問題と生命尊重についてはユニットを組み、全学年3時間が配当されている。

(2) 内容の取扱い

- ア 物事を多面的・多角的に考え、道徳的価値に迫ることができるように、読み物、漫画、グラフなどの様々な教材が掲載されており、全教材に学習のテーマと中心発問が設定されている。
- イ SDGsに関連した教材を付録として掲載し、生徒の身近な問題として、未来の社会をどう生きていくかを考えることができるようになっている。
- ウ いじめ問題について「いじめのない世界へ」というユニットを設け、読み物教材だけではなく、イラストや漫画の教材を掲載し、多面的・多角的に考えることができるようになっている。
- エ 生徒の個別最適な学びを支えるために、全教材に二次元コードが設定されている。また、NHK for Schoolの番組ストーリーが教材として全学年に掲載しており、二次元コードにより紙面と同じ内容の動画を視聴できるようになっている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ア 問題解決的な学習を取り入れ、多様な意見を引き出せるような中心発問や自己を見つめなおす発問が掲載され、自分の考えをグループで話し合い、考えを深めることができる構成になっている。

(4) 分量

- ア 1年生192ページ、2年生200ページ、3年生200ページ
- イ 1つの教材で、1単位時間の学習に適した分量になっている。

(5) 使用上の便宜

- ア UDフォント、カラーユニバーサルデザイン、掲載されている挿絵や写真は多様性に配慮されている。
- イ デジタルコンテンツとして、速度調整機能がついた朗読音声を用意されている。

(6) 印刷・製本等

- ア 軽量で丈夫な用紙が使用され、AB判である。
- イ 環境に配慮した再生紙と植物性インキを使用している。

※ 特徴及び長所

- ・「plus（プラス）」として、教材に関連したテーマをさらに深化・拡充させるコラムが、多数掲載されている。